

平成31年度 調布市立第五中学校 国語 第2学年 年間指導計画・評価計画

- 1 教科目標 国語の表現と理解の能力を高め、言語感覚を磨き、思考力・想像力を豊かにする。
- 2 評価の観点及びその趣旨
- ①国語への関心・意欲・態度…国語に関心をもち、理解・表現に努め、自ら進んでコミュニケーションに励む。
  - ②話す・聞く能力…目的や場面に応じて、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話し、考えを比べながら聞くことができる。
  - ③書く能力…目的や意図に応じ社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書くとともに文章を書いて考えを広げようとするができる。
  - ④読む能力…目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読んだり、広い範囲から情報を集めて効果的に活用したりすることができる。
  - ⑤伝統的な言語文化と国語の特質に対する理解…古典や文法、言葉の知識に対する理解を深め、言語感覚を磨く。
- 3 学年の目標 一年で身につけた基礎・基本を活用しながら多様な文章に触れ、表現の幅、ものの見方や考え方を広げる。
- 4 指導計画・評価計画表

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	1 広がる学びへ			
4月	見えないだけ 1時間 ◎言葉の使い方や表現の特徴に着目し、自分なりの感想をもちながら読む。(読(1)ア)	1	1 詩を通読する。 2 詩の表現に着目し、題名に込められた作者の思いを捉える。 3 詩の特徴を生かして朗読する。 4 学習を振り返る。	【関】表現の特徴を生かし、工夫して朗読しようとしている。 【読】表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。 【言】作品中の語句の語感を捉え、自分なりにイメージを広げ、語彙を豊かにしている。 【評価資料】 ノート、定期テスト、発表など
4月	アイズブラネット 5時間 ◎登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。(読(1)ア・イ) ◎登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連づけて考えをもつ。(読(1)エ)  ★小説を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(イ))	1 2-3 4 5	1 作品を通読する。 2 登場人物の言動や心情を表す表現から、「僕」の心情の変化を捉える。(学習2-1, 2) 3 「ぐうちゃん」からの手紙と写真を受け取った「僕」の心情を読み取る。(学習2-3) 4 「ぐうちゃん」の生き方や考え方について自分の経験と比べながら感想をもち、友達と交流する。(学習3) 5 学習を振り返る。 【選】p29「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	【関】作品に描かれた情景や登場人物の気持ちを、作品の中の表現や自分の経験を踏まえて想像しようとしている。 【読】登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。 【言】登場人物の言動や心情を表す言葉に着目して、作品を読み進めている。  【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
4月	練習 要点を整理して聞き取る 1時間 ◎目的や状況に応じ、話の要点や順序を整理しながら聞き取る。(話聞(1)エ)	1	1 p30「店の人の話」を聞き、必要な情報をメモする。→CD 2 聞き取ったことを友達に説明する。 3「上達のポイント」を読み、情報を整理して聞き取るために注意することを理解し、日常生活や学校生活に生かす。	【関】情報を的確に聞き取るための工夫について考え、話の要点をメモに取ろうとしている。 【話聞】情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成している。 【言】相手や目的に応じて、話の要点や順序が変わることに気づいている。 【評価資料】 ノート、聞き取りテストなど
	季節のしおり 春		・二十四節気の言葉や、春の情景を詠んだ和歌・短歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
5月	枕草子 3時間(読・伝国②書①) ◎日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。(読(1)イ・エ) ◎伝えたいことを明確にし、自分の季節感が効果的に伝わるように、描写や構成を工夫して書く。(書(1)イ・ウ) ○朗読を通して言葉の響きや調子を楽しみ、四季折々の風物に寄せる作者のものの見方、感じ方に触れる。(伝国(1)ア(7)(イ))	1-2 3	1「枕草子」を朗読し、古文に読み慣れる。 2 四季の趣について、作者の感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 書いた文章を友達と読み合い、清少納言の感じ方について感想をまとめる。	【関】「枕草子」の内容に興味をもち、朗読して内容を理解しようとしている。 【読】描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するものの見方や考え方について、感想をまとめている。 【書】自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。 【言】「枕草子」の文体の特徴を生かして朗読している。 【評価資料】 ノート、音読、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
5月	<b>多様な方法で情報を集めよう</b> <b>職業ガイドを作る</b> <b>6時間</b> ◎社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めながら、自分の考えをまとめ、構成を考えて書く。(書(1)ア・ウ) ◎書いた作品を読み合い、構成のしかたや情報の活用のしかたなどについて助言し合い、自分の考えを広げる。(書(1)オ)	1-2 3 4-5 6	1 情報を集める。 2 情報を整理し、考えをまとめる。 3 紙面構成を考える。 4 下書きをし、紙面を作る。 5 感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 興味をもった職業について情報を集め、自分の考えをまとめ、自分なりの職業ガイドを作ろうとしている。 <b>【書】</b> 興味をもった職業について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理している。 <b>【言】</b> 多様な方法で集められたそれぞれの情報の語句の意味を適切に理解したうえで、読者を考慮し、補足説明や言い換え、語の統一を図っている。 <b>【評価資料】</b> ノート、発表など
	<b>漢字 1</b> <b>熟語の構成</b> <b>2時間</b> ◎熟語の構成について理解する。(伝国(1)イ(イ)、ウ(ウ)(イ))	1-2	1 導入の例を基に、熟語の構成について考える。 2 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 3 練習問題に取り組む。	<b>【関】</b> 熟語の構成について興味をもち、理解しようとしている。 <b>【言】</b> 熟語の主な構成について理解している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
<b>2 多様な視点から</b>				
6月	<b>生物が記録する科学</b> <b>ーバイオリギングの可能性</b> <b>4時間</b> ◎文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉える。(読(1)イ・ウ) ◎説明されている内容を的確に捉え、もの見方や考え方を広げる。(読(1)エ)  <b>★説明を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。(読(2)イ)</b>  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ウ)(イ))	1 2-3 4	1 文章を序論(話題提示)・本論(具体的な説明)・結論(まとめ)の三つのまとまりに分け、文章構成を捉える。(学習1) 2 本論を読み、調査によって明らかになったことを二つに分けて捉える。(学習2-1) 3 本論での説明のしかたの特徴を、事実と筆者の考えの示し方などに着目して捉える。(学習2-2) 4 筆者が「バイオリギング」のどんな点に可能性を感じているかを捉え、それに対して感じたこと、考えたことをグループで話し合う。(学習3) 5 学習を振り返る。 <b>漢</b> p50「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【関】</b> 事実と考えの示し方などに着目して、説明のしかたの特徴を捉えようとしている。 <b>【読】</b> 文章の構成や事実と事実に対する筆者の考えの組み合わせに着目して、説明のしかたの特徴を捉えている。 <b>【言】</b> 説明の中で用いられている語句や熟語の意味を的確に捉え、発表や話し合いの中で正確に使うことができている。  <b>【言】</b> 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
6月	<b>練習 説明のしかたを工夫する</b> <b>1時間</b> ◎伝えたい事柄をわかりやすく伝えるために、説明のしかたを考えながら文章を書く。(書(1)イ・ウ)	1	1 身近な物の中から説明したい事柄を選ぶ。 2 事柄について、何を説明したいか目的を明らかにして、ふさわしい説明のしかたについて考える。 3 説明のしかたを決め、説明する内容について考える。 4 選んだ説明のしかたに沿って、構成を考え、文章にまとめる。 5 書いた文章から、互いの文章の工夫している点や改善すべき点について話し合う。	<b>【関】</b> 事柄が効果的に伝わるように、説明のしかたを自分なりに工夫しようとしている。 <b>【書】</b> 説明する事柄の特徴を明確にし、適切な説明のしかたを選んで書いている。 <b>【言】</b> 目的に応じて文章の形態や展開が変わることに気づいている。 <b>【評価資料】</b> ノートなど
6月	<b>魅力的な提案をしよう</b> <b>プレゼンテーションをする</b> <b>5時間</b> ◎情報を多様な方法で集め、聞き手を想定して整理し、わかりやすい説明の構成や展開を考える。(話聞(1)ア・イ) ◎資料や機器を活用し、写真や図表などと言葉を効果的に組み合わせて説明する。(話聞(1)ウ)  <b>★調べてわかったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりする。(話聞(2)ア)</b>	1 2-3 4 5	1 提案する相手・目的・事柄を決め、材料を集める。 2 材料を整理し、進行案を作る。 3 進行案を基に、グループごとにプレゼンテーションを行う。ーCD 4 各グループの説明について評価し合う。 5 学習を振り返る。	<b>【関】</b> グループの話し合いに進んで参加し、聞き手や目的を意識したプレゼンテーションを行おうとしている。 <b>【話聞】</b> 多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができている。 <b>【言】</b> 相手や目的に応じて、話の構成や話し方を工夫している。 <b>【評価資料】</b> ノート、発表など

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	<b>メディアと上手に付き合うために</b> <b>情報コラム</b> <b>著作権について知る</b> <b>2時間</b> ◎メディアの特徴について書かれた文章を読んだり、自分で多様なメディアから情報を集めて比較したりして、メディアとの付き合い方について自分の考えをもつ。(読(1)エ・オ)  ★新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較する。(読(2)ウ)	1	1 本文を通読する。 2 p59「いろいろなメディアから得た情報を比べよう」を読み、実際に自分で社会の出来事から話題を選んで調べる。	<b>【関】</b> メディアの特徴に興味をもち、付き合い方について考えたり、情報を集めたりしようとしている。 <b>【読】</b> さまざまなメディアの特徴を理解し、活用のしかたや注意点について、自分の考えをまとめている。 <b>【言】</b> 新聞やインターネットなど、メディアによって文章の形態や展開が違うことに気づいている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
	2	3 1, 2を踏まえ、メディアとの付き合い方について考える。 4 「著作権について知る」を通読し、著作権について知識を深める。 5 学習を振り返る。		
	<b>言葉1</b> <b>類義語・対義語・多義語</b> <b>2時間</b> ◎類義語と対義語、多義語の意味や用法について理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。(伝国(1)イ(イ))	1-2	1 導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性に興味をもつ。 2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。	<b>【関】</b> 教科書の例や身近にある類義語・対義語・多義語などに興味をもち、語彙を増やそうとしている。 <b>【言】</b> 類義語・対義語・多義語の概念について、具体例に当てはめて理解している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
7月	<b>新しい短歌のために</b> <b>短歌を味わう</b> <b>3時間 (読②書①)</b> ◎解説文の筆者のものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。(読(1)エ) ○短歌に示された語句の効果的な使い方や描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読する。(読(1)ア、伝国(1)ア(ア)) ◎心情や情景が伝わるように、描写を工夫して短歌を創作する。(書(1)イ・ウ)  ★短歌を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べ合う。(読(2)ア) ★表現の仕方を工夫して短歌を作る。(書(2)ア)	1	1 「新しい短歌のために」を通読し、短歌の特徴などを知るとともに、五首それぞれに込められた心情や情景を想像する。	<b>【関】</b> 短歌の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。 <b>【読】</b> 解説文に表れた筆者のものの見方や考え方について、自分の体験や読書経験と関連づけて感想をまとめている。 ・短歌を語句の使い方や描写の工夫に触れながら読み味わい、感想をまとめている。 <b>【書】</b> 学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして、自分の体験や思いが伝わるように短歌を作っている。 <b>【言】</b> 短歌に使われている言葉の語感の豊かさや、口語と文語の違いなどに気づき、受ける印象や意味の差異に気づいて作品を解釈している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
		2	2 「短歌を味わう」のそれぞれの作品を読み、表現の工夫や効果、思い浮かべた情景や心情について考えを述べ合う。	
		3	3 p67「短歌を創作しよう」に取り組む。 4 学習を振り返る。	
7月	<b>言葉を比べよう</b> <b>1時間</b> ◎似た気持ちを表す言葉を比べ、言葉のもつ意味について考え、語感を磨く。(伝国(1)イ(イ)) ◎言葉の微妙な違いが効果的に伝わるように、題材や構成、描写を工夫して物語を書く。(書(1)ア・ウ)	1	1 教材文を読み、言葉の微妙な違いについて考えることの意義を確認する。 2 似た意味の言葉を使って物語を書く活動を通して、言葉の共通点や相違点を明確にし、語感を磨く。	<b>【関】</b> 似た気持ちを表す言葉に興味をもって、意味や用例を調べようとしている。 <b>【書】</b> 選んだ言葉の微妙な違いが伝わるように、物語にまとめている。 <b>【言】</b> 気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨いている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
	<b>言葉の力</b> <b>2時間</b> ◎「言葉の本質」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。(読(1)ア・ウ・エ)  ★随筆を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)	1	1 文章を通読する。 2 文章を三つのまとまりに分け、それぞれの内容を要約する。(学習1)	<b>【関】</b> 自分や周囲の人の言葉の使い方を見つめ直し、自らの言語生活を振り返っている。 <b>【読】</b> 挿話と筆者の考えとの関連を捉え、言葉と人との関わりについて自分の考えをまとめている。 <b>【言】</b> イメージを喚起する筆者の言葉の選び方や、比喩の巧みに学ぼうとしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
2	3 言葉についての筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつ。(学習2) 4 学習を振り返る。			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	<b>文法への扉1</b> <b>言葉をどう分ける？</b> 2時間 ◎活用のある自立語と活用のない自立語の性質や働きを理解する。(1年伝国(1)イ(エ))	1-2	1 p74の導入や解説を読み、単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 p240文法1「自立語」を読み、自立語の各品詞の性質などについて理解する。	<b>【関】</b> 文法について関心を持ち、自立語が働きなどによって分類されることを理解しようとしている。 <b>【言】</b> 自立語の位置や語形、働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
<b>読書生活を豊かに</b>				
7月	<b>世界で一番の贈り物</b> <b>二年一組のお薦め三十五冊</b> <b>読書案内</b> <b>読書コラム たまには、少し変わった本を</b> 3時間 ◎登場人物の言動の意味や展開、表現のしかたなどに着目して読み、作品に込められたものの見方や感じ方を捉え、自分の考えを深める。(読(1)イ・ウ・エ) ◎本に関する情報を多様な方法で集め、自分の考えをまとめる。(読(1)オ) <b>★物語を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)</b> <b>★新聞やインターネット、学校図書館の施設などを活用し得た情報を比較して整理する。(読(2)ウ)</b>	1 2-3	1 「世界で一番の贈り物」を通読する。 2 p84「二年一組のお薦め三十五冊」の手順で、1年生に 3 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 教科書掲載の物語に興味をもって読み、さらに、自分の興味関心に沿って、さまざまな本を読み広げようとしている。 <b>【読】</b> 作品に込められたメッセージや文学作品としてのよさについて、自分の考えを持ち、友達と話し合っている。 ・自分が推薦する本の魅力が伝わるように、情報を集め、比較検討し、表現や構成を工夫している。 <b>【言】</b> 1年生に薦める読書案内ということを意識し、語句や表現を工夫している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
	<b>季節のしおり 夏</b>		・二十四節気の言葉や、夏の情景を描いた散文や短歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
<b>4 関わりの中で</b>				
9月	<b>盆土産</b> 5時間 ◎作品の構成や登場人物の描写に着目して、人柄や心情を読み取る。(読(1)イ) ◎作品に描かれている優しさや温かさなどを、表現に即して読み味わう。(読(1)ア) <b>★物語を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)</b> ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(イ))	1 2-3 4-5	1 作品を通読する。 2 登場人物の人柄や心情を捉える。(学習2) 3 いちばん印象に残る場面について話し合う。(学習3) 4 学習を振り返る。 <b>漢</b> p105「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【関】</b> 登場人物の人柄や心情を表現に即して読み取ろうとしている。 <b>【読】</b> 構成や、会話文に見られる方言、登場人物の言動の描写に着目し、人柄や心情を捉えながら作品を読み味わっている。 <b>【言】</b> 方言が、作品に優しさや温かさをもたらしていることに気がついている。 <b>【言】</b> 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
9月	<b>字のない葉書</b> 3時間 ◎人物の言動や様子の描写に着目して、人柄や心情を捉える。(読(1)ア・イ) ◎筆者の父親への思いや家族のきずな、人間関係について自分の考えをもつ。(読(1)エ) <b>★随筆を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)</b>	1 2 3	1 作品を通読する。 2 文章中に書かれた二つの思い出の内容をノートに整理する。(学習1) 3 登場人物の人柄や心情を捉える。(学習2) 4 父親に対する「私」の思いについて、共感できることや、共感しにくいと思うことを発表し合う。(学習3) 5 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 表現に込められた語り手(「私」)の思いを捉えようとしている。 <b>【読】</b> 言動や様子を表す表現に着目して、父親の人柄や心情を読み取っている。 <b>【言】</b> 作品中の語彙の豊かさや美しさに気づき、意味や使い方を調べ、自分の表現に生かそうとしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	練習 推敲して適切な文章に直す 1時間 ◎書いた文章を読み返して推敲し、言葉の使い方や表記に誤りがない文章にする。(書(1)エ)	1	1 教材文を読み、言葉の使い方や表記の誤りについて発表し合う。 2 p111「上達のポイント」の四つの観点を基に、教材文を書き直す。	【関】言葉の使い方や表記のしかたに関心をもち、誤りを直そうとしている。 【書】四つの観点を理解して、誤りがない文章にしている。 【言】相手に応じた言葉の使い方や表記を理解している。 【評価資料】 ノートなど
	気持ちを込めて書こう 手紙を書く 4時間 ◎伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるよう表現や構成を工夫して手紙を書く。(書(1)イ・ウ) ◎手紙の書き方を知り、推敲して相手や目的に応じた手紙を書く。(書(1)エ)(伝国(1)イ(7)) ★社会生活に必要な手紙を書く。(書(2)ウ)	1 2-3 4	1 教材文を読み、手紙の書き方を知る。 2 相手と目的、内容を決めて下書きをする。 3 友達どうして下書きを読み、気づいたことを話し合う。 4 友達の助言も踏まえて推敲する。 5 清書して、手紙を送る。 6 手紙以外の通信手段について考える。 7 学習を振り返る。	【関】手紙の特徴や書式に関心をもち、相手に応じて書こうとしている。 【書】・伝えたい内容を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して書いている。 ・形式を整え、推敲して相手や目的に応じて手紙を書いている。 【言】時候の挨拶や「拝啓」「敬具」など手紙特有の言葉や、敬語を適切に使っている。 【評価資料】 ノート、作品など
10月	モアイは語る —地球の未来 5時間 ◎文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える。(読(1)イ) ◎構成や展開の工夫や筆者のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。(読(1)ウ・エ)  ★論説を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。(読(2)イ)  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小中学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(4))	1 2-3 4 5	1 作品を通読する。 2 筆者たちの研究以前にわかったこと、筆者たちの研究によってわかったことを確認する。(学習1) 3 筆者の論の展開と主張を捉える。(学習2) 4 筆者の主張を読み取り、自分の考えをもつ。(学習3) 5 筆者の論の展開のしかた、説得力のある述べ方の工夫について友達と話し合う。(学習3) 6 学習について振り返る。  漢p124「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	【関】筆者が主張していることを読み取ろうとしている。 【読】・序論の問題提起に対応した本論の説明や、本論を受けた結論など、論の展開を押さえて、筆者の主張を捉えている。 【言】環境問題を論じるときに使われる漢語を本文から探し、自分の文章の中で使っている。  【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
10月	言葉2 敬語 2時間 ◎敬語の働きについて理解する。(伝国(1)イ(7))	2	1 導入の例文を読み、敬語の使い方について考える。 2 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。 3 教材文を読み、敬語の組み合わせについて考える。	【関】敬語の働きや種類について関心をもち、理解しようとしている。 【言】敬語の働きについて理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
10月	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 1時間 ◎同訓異字や同音異義語などの意味・用法の違いについて理解する。(伝国(1)イ(4)・ウ(7)(4))	1	1 教材文を読み、同じ訓をもつ漢字の文脈に合わせた使い分けを考える。 2 教材文を読み、同音異義語について理解する。 3 練習問題に取り組む。	【関】漢字の訓や音に関心をもち、同じ訓の漢字や同音異義語に対する理解を深めようとしている。 【言】文脈や言葉の意味に注意して、同じ訓をもつ漢字、同音異義語の使い分けができていく。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	季節のしおり 秋		・二十四節気の言葉や、秋の情景を詠んだ和歌・短歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
5	いにしえの心を訪ねる			
10月	音読を楽しもう 平家物語 1時間 ◎朗読して、古典の世界を楽しむ。(伝国(1)ア(7))	1	1 「平家物語」の主な内容と文章の特徴を知る。 2 教材文を朗読(音読)、あるいは暗唱する。	【関】歴史的仮名遣いや漢語に関心をもち、朗読しようとしている。 【言】歴史的仮名遣いやリズムなど作品の特徴を捉えて朗読している。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>扇的</b> —「平家物語」から <b>3時間</b> ◎古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。(伝国(1)ア(7)(4)) ◎登場人物の言動から心情を理解し、作品に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをもつ。(読(1)イ・エ)	1 2 3 4 5	1 全文を通読する。 2 「平家物語」の冒頭部分p132や、「扇的」を繰り返し朗読する。(学習1) 3 場面の状況と登場人物の心情を考える。(学習2) 4 「平家物語」に描かれたものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。(学習3) 5 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 作品独特の調子やリズムを意識して朗読しようとしている。 <b>【読】</b> 登場人物の言動から心情を考え、そこに表れた価値観などに対して、自分なりの考えをもち、意見を述べている。 <b>【言】</b> 朗読を通して作品独特の言葉の調子やリズムに慣れ、作品のよさを見つけている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
10月	<b>仁和寺にある法師—「徒然草」から</b> <b>3時間 (読・伝国②書①)</b> ◎古典の文章を朗読して表現に慣れ、作品を読み味わう。(伝国(1)ア(7)(4)) ◎登場人物に対する作者の考えを述べた部分から、ものの見方や考え方について自分の考えをもつ。(読(1)イ・エ) ◎古典の登場人物の人物像について、伝えたい事柄を明確にし、文章の構成を工夫して書く。(書(1)イ) ○古典の登場人物の人物像について書いた文章を読み合い、自分の考えを広げる。(書(1)オ)  <b>★多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を書く。(書(2)イ)</b>	1 2 3	1 全文を通読する。 2 「徒然草」の冒頭部分と、「仁和寺にある法師」の原文を繰り返し朗読する。(学習1) 3 登場人物の行動を捉え、作者のものの見方考える。(学習2) 4 法師の人物像を根拠を明らかにして、話し合う。(学習3) 5 「平家物語」「徒然草」で学習した登場人物の人物論を300字程度で書く。 6 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 作品独特の調子やリズムを意識して朗読しようとしている。 <b>【読】</b> 登場人物の行動を通して述べられた作者の考えについて自分の考えをもち、述べている。 <b>【書】</b> 選んだ登場人物の特徴がわかる言動を具体的に挙げて、文章構成を工夫して自分の考えを書いている。 <b>【言】</b> 朗読を通して作品独特の調子やリズムに慣れ、作品のよさを見つけている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
	<b>漢詩の風景</b> <b>3時間</b> ◎漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。(伝国(1)ア(7)(4)) ◎漢詩に歌われている情景や人物の心情を想像し自分の考えをまとめる。(読(1)ウ)	1 2 3	1 全文を通読する。 2 三編の漢詩を繰り返し朗読する。(学習1) 3 漢詩に描かれた季節、情景、作者の心情を読み味わう。(学習2) 4 三編の漢詩から自分の好きな一編を選び、その理由を述べる。(学習3) 5 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 漢詩特有の言葉遣いや調子に関心をもち、描かれた内容を考えようとしている。 <b>【読】</b> それぞれの漢詩に歌われている季節、情景や心情を、表現に基づいて想像し、まとめている。 <b>【言】</b> 朗読を通して作品独特の調子やリズムに慣れ、作品のよさを見つけている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
<b>6 論理を捉えて</b>				
11月	<b>君は「最後の晩餐」を知っているか</b> <b>4時間</b> ◎語句や表現の工夫に着目して、筆者のものの見方や考え方を読み取る。(読(1)ア・イ・ウ) ◎筆者の絵画の見方について、自分の知識や体験と関連づけて考えをもつ。(読(1)エ)  <b>★評論を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。(読(2)イ)</b>  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(4))	1 2-3 4	1 作品を通読する。 2 「最後の晩餐」に使われている「解剖学」「遠近法」「明暗法」について説明する。(学習2) 3 筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と思った理由を説明する。(学習2) 4 筆者の絵画の見方や感じ方に対して、自分の考えを述べる。(学習3) 5 学習を振り返る。  <b>漢</b> p163「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【関】</b> 評論という文章の種類について興味をもち、筆者の絵画の見方について読み取ろうとしている。 <b>【読】</b> 語句や表現の工夫に着目して読み、筆者のものの見方や考え方を読み取っている。 <b>【言】</b> 事実や出来事を正確に伝える説明や記録と異なり、評論が対象の価値などについて自分の考えを伝えるための文章の形態であることを理解している。 <b>【言】</b> 問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
	<b>練習 相手の考えを踏まえて発言する</b> <b>1時間</b> ◎相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら発言する。(話聞(1)エ・オ)	1	1 「中学生に携帯電話は必要なのか」を読み、自分の考えをまとめる。→ <b>CD</b> 2 「上達のポイント」を読み、考えた自分の意見を述べる練習をする。	<b>【関】</b> 相手の考えをしっかりと聞き、発言しようとしている。 <b>【話聞】</b> 相手の考えを踏まえて自分の意見を述べている。 <b>【言】</b> 適切な話し言葉や敬語を使っている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
11月	話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする 5時間 ◎社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、論理的な構成を考えて話す。(話聞(1)ア・イ) ◎相手の意見や考えを尊重しながら目的に沿って討論し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。(話聞(1)エ・オ) ★社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行う。(話聞(2)イ)	1-2 3-4 5	1 パネルディスカッションについて知り、話し合うテーマを決める。 2 テーマに対する立場を考え、立場ごとにグループに分かれる。 3 グループで説得力のある意見と根拠を考える。 4 進行計画を立て、パネルディスカッションをする。—CD 5 討論を振り返り、次への課題を見つける。 6 学習を振り返る。	【関】 テーマについて自分の考えをまとめ、討論に参加し、さらに考えを深めようとしている。 【話聞】 異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べている。 【言】 テーマに沿って話し合いを深める目的になった話のしかたや表現を用いている。 【評価資料】 ノート、発表など
11月	練習 意見文の説得力を考える 2時間 ◎伝えたい内容を明確にし、相手に効果的に伝わるよう根拠の示し方を工夫して書く。(書(1)イ・ウ)	2	1 A Bの教材文を読み、説得力のある方を選び、その理由を考える。 2 「上達のポイント」を読み、根拠の示し方や反論を踏まえている点に気づく。	【関】 意見文における説得力の必要性を理解し、そのための工夫を文章の中から見つけようとしている。 【書】 意見を効果的に伝えるための要素として、根拠と反論に対する考えの示し方を理解している。 【言】 相手や目的に応じて、話や文章の形態に違いがあることを理解している。 【評価資料】 ノートなど
12月	根拠を明確にして意見を書こう 意見文を書く 5時間 ◎社会生活の中から課題を決めて、適した情報を集めて自分の考えをもつ。(書(1)ア・イ) ◎自分の意見と根拠を明確にして、効果的に伝わるよう文章構成などを工夫して書く。(書(1)ウ・エ) ★多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を書く。(書(2)イ)	1 2-3 4-5	1 社会生活の中から課題を決め、自分の意見を明らかにする。 2 自分の意見とそれを支える根拠を明らかにする。 3 構成を考え、下書きを書く。 4 意見文を清書し、読み合い、助言し合う。 5 学習を振り返る。	【関】 自分の立場や意見が伝わるように、根拠を明らかにして書こうとしている。 【書】 自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書いている。 【言】 意見文にふさわしい論の展開や、語句の使い方などに気づいている。 【評価資料】 作品など
12月	落葉松 1時間 ◎表現のしかたに注意して、自分の考えをもちながら読む。(読(1)ア・ウ) ★詩を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)	1	1 詩を通読する。 2 表現技法や連の構成などの表現のしかたに着目し、情景や作者の感じ方を捉える。 3 グループで表現のしかたについて感じたことを話し合う。 4 学習を振り返る。	【関】 表現のしかたに着目して詩を読もうとしている。 【読】 表現のしかたや、作者のものの見方や感じ方について自分なりの感想をもっている。 【言】 反復など、表現技法について理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 3時間 ◎用言の活用について理解する。(伝国(1)イ(イ))	1 2-3	1 教材文を読み、動詞の形の変化について考える。 2 p244文法2「用言の活用」で、動詞の活用について考える。 3 p244文法2「用言の活用」で、形容詞・形容動詞の活用について考える。	【関】 規則的な語形変化に関心をもち、用言の活用を理解しようとしている。 【言】 活用形の種類と用言の活用の種類を理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	読書に親しむ			
12月	小さな町のラジオ発 —臨時災害放送局「りんごラジオ」 読書案内 1時間 ◎多様な方法で選んだ本や文章のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。(読(1)エ・オ)	1	1 全文を通読する。 2 災害時における情報の大切さについて、自分の考えをもつ。 3 筆者の「声」に対する考え方について、自分の考えをもつ。 4 p187-189の中から関心をもった本を挙げる。	【関】 文章に描かれた状況を思い浮かべながら読み、同様のテーマやジャンルなどの本に、関心を広げようとしている。 【読】 筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。 【言】 事象や出来事を伝える文章で用いられている語句に関心をもち、理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	季節のしおり 冬		・二十四節気の言葉や、冬の情景を描いた散文、短歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
	7 表現を見つめて			
1月	<b>走れメロス</b> <b>6時間 (読5書1)</b> ◎心情を表す語句や、登場人物の言動の意味などを考え、人物像の変化を捉え、作品を読み深める。(読(1)ア・イ) ◎表現のしかた及び主人公の考え方について、根拠となる部分を挙げて自分の考えをもつ。(読(1)ウ) ○伝えたい事柄を明確にして、構成や文章の形式を選び、表現を工夫して書く。(書(1)イ・ウ)  ★小説を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア) ★表現のしかたを工夫して創作する。(書(2)ア)  ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(f))	1-2  3-4  5  6	1 作品を通読する。 2 人物・時・場所・出来事などに着目して、作品をいくつかの場面に分け、構成を確認する。(学習1) 3 描写や会話に着目して、登場人物の人物像の変化を捉える。(学習2) 4 「メロス」の行動や考え方について、共感できたところや、できなかったところを、その理由とともに考えながら話し合う。(学習3) 5 作品に描かれた出来事や登場人物などを題材にして、形式を選んで文章を書く。 6 文章を友達と読み合い、感想を述べ合う。 7 学習を振り返る。  漢p210「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【関】</b> 登場人物の行動や考え方について自分の考えをもとうとしている。 <b>【読】</b> 登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。 <b>【書】</b> 文章の題材と形式を選び、形式に応じて文章を書いている。 <b>【言】</b> 近代文学であることを意識し、使われている語句について関心をもち、語彙を豊かにしている。  <b>【言】</b> 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
	<b>文法への扉3</b> <b>一字違いで大違い</b> <b>2時間</b> ◎付属語について理解する。(伝国(1)イ(ε))	1  2	1 教材文を読み、付属語の働きについて関心をもち。 2 p250文法3「付属語」を読み、助詞の働きと種類について理解する。 3 p250文法3「付属語」を読み、助動詞の働きと種類について理解する。 4 下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。	<b>【関】</b> 付属語について関心をもち、働きと種類を理解しようとしている。 <b>【言】</b> 助詞と助動詞の働きや種類について整理した内容を理解している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
1月	<b>表現のしかたを工夫して書こう</b> <b>「ある日の自分」の物語を書く</b> <b>5時間</b> ◎場面や気持ちの変化が効果的に伝わるように、文章の構成や描写を工夫して書く。(書(1)イ・ウ) ◎書いた文章を互いに読み合い、意見や感想を交流して自分の表現に役立てる。(書(1)オ)  ★表現のしかたを工夫して創作する。(書(2)ア)	1 2  3-4  5	1 これまでの生活を振り返り、物語の題材を決める。 2 自分を登場人物の一人として、物語のあらすじを考える。 3 効果的な描写の工夫をして、物語を書く。 4 友達が書いた物語を読み、助言し合う。 5 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 自分の体験の中から題材を探し、表現を工夫しようとしている。 <b>【書】</b> 場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。 <b>【言】</b> 情景や心情を効果的に伝えるために、語句の選択や文章表現、語感にも注意して、文章を書いている。 <b>【評価資料】</b> 作品など
2月	<b>言葉3</b> <b>方言と共通語</b> <b>2時間</b> ◎方言と共通語の果たす役割について理解する。(伝国(1)イ(7))	1  2	1 導入の「捨てる」の例から、地域による言葉の違いについて考える。 2 教材文を読み、方言と共通語について考える。 3 p217「生活に生かす」を読み、方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について意見を交流する。	<b>【関】</b> 方言や共通語に関心をもち、それぞれの使われ方について考えようとしている。 <b>【言】</b> 方言と共通語の役割や特徴について理解している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<b>科学はあなたの中にある</b> <b>3時間</b> ◎抽象的な語句に注意しながら、事例と主張の関係を考えて内容を理解する。(読(1)ア・イ) ◎筆者の「科学」に対する考え方について、知識や体験を結び付けて考える。(読(1)エ) ★論説を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。(読(2)イ) ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(イ))	1 2 3	1 全文を通読する。 2 「科学」という言葉から思い浮かぶ物事や体験を挙げる。(学習1) 3 「ろうそくにまつわる二つの話」についての事例をまとめる。(学習2) 4 事例と「科学とは何だろう。」という筆者の問いとの関連を話し合う。(学習2) 5 筆者の考え方について、知識や体験を結び付け、自分の考えをまとめる。(学習3) 6 学習を振り返る。 漢p225「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	<b>【関】</b> 自分の知識や体験と照らし合わせながら、文章を読み、考えを深めようとしている。 <b>【読】</b> 事例と主張の関係を捉えて、筆者の見方や考え方を理解している。 <b>【言】</b> 文章中で使われている抽象的な語句の意味を必要に応じて調べ、自分でも使おうとしている。 <b>【言】</b> 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
2月	<b>漢字3</b> <b>送り仮名</b> <b>1時間</b> ◎送り仮名の付け方の基本を理解する。(伝国(1)ウ(7)(イ))	2	1 導入の例から、送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。 2 教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 3 p227の練習問題に取り組む。	<b>【関】</b> 送り仮名の付け方に関心をもち、理解しようとしている。 <b>【言】</b> 送り仮名の主な原則と例外について理解している。 <b>【評価資料】</b> ノート、定期テストなど
3月	<b>一年間の学びを振り返ろう</b> <b>6時間(話聞③書③)</b> ◎1年間の学習について、資料や機器などを使って簡潔に発表するとともに、互いの考えについて話し合い、自分の考えを広げる。(話聞(1)ア・ウ・エ・オ) ◎1年間の学習について材料を集め、構成や描写を工夫して書く。(書(1)ア・イ・ウ) ★考えたことに基づいて説明や発表をしたり、それについて意見を述べたりする。(話聞(2)ア)	1-2 3 4-5 6	1 1年間の学習を振り返り、必要な材料を集める。 2 報告書の内容・構成を考える。 3 グループで話し合う。 4 報告書をまとめる。 5 報告書を読み、感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 1年間の学習について関心をもって振り返り、より伝わりやすい発表や報告書にしようとしている。 <b>【話聞】</b> 資料や機器などを効果的に使い、わかりやすく説明している。 <b>【書】</b> わかりやすい構成や説明の工夫をして報告書を書いている。 <b>【言】</b> 発表と報告書とで、話し言葉と書き言葉の違いがあることなどを理解し、それぞれにふさわしい表現や展開を意識している。 <b>【評価資料】</b> 作品など
	<b>鍵</b> <b>2時間</b> ◎言葉の意味を考えながら作者が詩に込めた思いを捉え、自分の考えをもつ。(読(1)ア・イ・ウ) ★詩を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。(読(2)ア)	1 2	1 詩を通読する。 2 一つ一つの言葉の意味を考えながら読み、作者の思いを捉える。 3 詩を読んで、自分の考えをもち、発表する。 4 学習を振り返る。	<b>【関】</b> 詩の内容に関心をもち、作者の思いを考えようとしている。 <b>【読】</b> 作者が思い描いているイメージや思いを読み取り、自分の考えをもつ。 <b>【言】</b> 作者独自の語の選択のしかたが、詩の世界を決定づけていることを理解し、自身の語彙と比較させるなどして、語感を磨き、語彙を豊かにする。 <b>【評価資料】</b> ノートなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
---	------------------	---	------	------

二学年 書写

学習編				
4月	1. 行書の書き方を学ぼう			
	<p><b>点画の省略</b> (教科書P34-35)</p> <p>◎行書の特徴である点画の省略を理解して書くことができる。[伝国(2)ア, (1)ウ(イ)]</p>	<p><b>毛筆</b></p> <p>3</p>	<p>1 楷書と行書で書かれた「調和」を比較して、点画が省略されている部分を見つけ、話し合う。</p> <p>2 「調」「和」に見られる点画の省略を確認し、同じく省略された部分をもつ他の漢字を硬筆でなぞる。</p> <p>3 「学習の窓」を見て、点画が省略される理由と、主な省略のしかたを確かめる。</p> <p>4 点画の省略を意識して、毛筆で「調和」を書く。</p> <p>5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「調和」「秘話」「相談」を書く。</p>	<p>【関】楷書と比較し、点画が省略されている部分を主体的に見つけようとしている。</p> <p>【知】点画が省略される理由と、主な省略のしかたを理解している。</p> <p>【技】筆脈を意識し、点画の省略のしかたに注意して行書を書いている。</p> <p>【評価資料】作品など</p>
5月				
	<p><b>筆順の変化</b> (教科書P36-37)</p> <p>◎行書の特徴である筆順の変化を理解して書くことができる。[伝国(2)ア, (1)ウ(イ)]</p>	<p><b>毛筆</b></p> <p>3</p>	<p>1 楷書と行書で書かれた「紅花」を比較して、筆順が変化している部分を見つけ、どのように変化するか話し合う。</p> <p>2 「紅」「花」に見られる筆順の変化を確認し、同じく変化した部分をもつ他の漢字を硬筆でなぞる。</p> <p>3 「学習の窓」を見て、筆順が変化する理由を確かめる。</p> <p>4 筆順の変化を意識して、毛筆で「紅花」を書く。</p> <p>5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「紅花」「若菜」「組織」を書く。</p>	<p>【関】楷書と比較し、筆順が変化している部分を主体的に見つけようとしている。</p> <p>【知】筆順が変化する理由を理解している。</p> <p>【技】筆脈を意識し、楷書とは異なる筆順で行書を書いている。</p> <p>【評価資料】作品など</p>
6月				
	<p><b>行書の練習2</b> (教科書P38-39)</p> <p>◎行書の部分の書き方を覚えて、その部分をもつ漢字を書くことができる。[伝国(2)ア, (1)ウ(イ)]</p>	<p><b>硬筆</b></p> <p>2</p>	<p>1 点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化などを含む行書の部分の書き方を覚え、同じ部分をもつ漢字を硬筆でなぞる。</p> <p>2 設問②の空欄に当てはまる漢字を選び、点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化に注意して硬筆で書き込む。</p> <p>【学習活動の応用例】</p> <p>○教科書P79-93「常用漢字一覧表」から同じ部分をもつ漢字を探し、行書の特徴を意識して硬筆で書く。</p>	<p>【関】行書の部分の書き方を覚え、同じ部分をもつ他の漢字に生かそうとしている。</p> <p>【知】点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化を理解し、それらを含む部分の書き方を覚えている。</p> <p>【技】点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化に注意して、その部分をもつさまざまな漢字を書いている。</p> <p>【評価資料】作品など</p>
7月				
9月	2. 行書に仮名を交えて書こう			
	<p><b>行書と仮名の調和</b> (教科書P40-41)</p> <p>◎行書と仮名の調和を意識して書くことができる。[伝国(2)ア, (1)ア(イ)・ウ(イ)(イ)]</p>	<p><b>毛筆</b></p> <p>3</p>	<p>1 「楷書とそれに調和する仮名」と「行書とそれに調和する仮名」に含まれる平仮名を比較して違いを見つけ、話し合う。</p> <p>2 「学習の窓」を見て、行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを確かめる。</p> <p>3 「夕映えの空」の点線を鉛筆でなぞり、筆脈を確かめる。</p> <p>4 行書と仮名の調和を意識して、毛筆で「夕映えの空」を書く。</p>	<p>【関】楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。</p> <p>【知】行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解している。</p> <p>【技】行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。</p> <p>【評価資料】作品など</p>
10月				
	<p><b>行書に調和する仮名</b> (教科書P42-43)</p> <p>◎行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。[伝国(2)ア, (1)ア(イ)・ウ(イ)]</p>	<p><b>毛筆</b></p> <p>3</p>	<p>1 行書に調和する仮名の筆使いに慣れるために、教科書P42 下段の運筆練習に取り組む。</p> <p>2 「学習の窓」を見て、行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解する。</p> <p>3 行書に調和する仮名の特徴を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。</p>	<p>【関】行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。</p> <p>【知】行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解している。</p> <p>【技】筆脈と筆圧の変化を意識し、点画の方向や形の変化、点画の連続に注意して「いろは歌」を書いている。</p> <p>【評価資料】作品など</p>
11月				

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
11月	<b>行書と仮名のまとめ</b> (教科書P44-45) ◎これまでに学習したことを生かして、行書とそれに調和する仮名で文章を書くことができる。 [伝国(2)ア, (1)ア(ア)・ウ(ウ)(イ)]	硬筆 2	1 「いろは歌」を鉛筆でなぞり、行書に調和する仮名の筆使いを確かめる。 2 行書の字形の整え方を確かめる。 3 行書と仮名の調和を意識し、これまでに学習したこと(行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴/文字の大きさと配列)と行書の字形の整え方に注意して、「平家物語」の抜粋を硬筆でなぞり、空欄に書き込む。	<b>【関】</b> 行書とそれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書くようとしている。 <b>【知】</b> 行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴を理解している。 <b>【知】</b> 行書の字形の整え方を理解している。 <b>【技】</b> 行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴、文字の大きさと配列に注意し、行書と仮名を調和させながら文章を書いている。 <b>【評価資料】</b> 作品など
12月	<b>3. 楷書が行書かを選択して書こう</b>  <b>楷書と行書の使い分け</b> (教科書P46-47) ◎目的や必要に応じて、楷書が行書かを選択して書く必要があることを理解することができる。 [伝国(2)イ, (1)ウ(ウ)(イ), A(1)オ(2)イ]	硬・毛 2	1 教科書 P46①の場面では、それぞれ楷書と行書のどちらで書くことが適しているか、理由も合わせて話し合う。 2 「学習の窓」を見て、目的や必要に応じて楷書と行書を使い分ける必要があることを確かめる。 3 教科書 P47②のポスターの見出しに使いたい書体と筆記具を選び、理由も合わせて話し合う。 4 教科書 P47②のポスターの見出しとして、3で選んだ文字を書き込む。 <b>【学習活動の応用例】</b> ○ 教科書P70-73「情報を発信する」などを参考に、目的や必要に応じて適切な書体を選択し、学校行事と関連するポスターなどを書く。	<b>【関】</b> 提示された場面において、楷書と行書のどちらで書くのが適しているか、主体的に考えようとしている。 <b>【知】</b> 目的や必要に応じて楷書が行書かを選択して書く必要があることを理解している。 <b>【技】</b> 楷書と行書、それぞれの特性を理解した上で、目的や必要に応じて適切な書体を選択し、書き分けている。 <b>【評価資料】</b> 作品など
1月 2月 3月	<b>【コラム】季節のしおり2</b> (教科書P48-49) ◎これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。[伝国(2)ア・イ] ○季節にまつわる詩歌や言葉など、伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。[伝国(1)ア(ア)・ウ(ウ)(イ)]	硬筆 2	1 季節にまつわる詩歌や言葉を朗読して味わう。 2 これまでに学習したこと(行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴/行書と仮名の調和/文字の大きさと配列)を意識して、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。	<b>【関】</b> これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに、興味をもって取り組んでいる。 <b>【知】</b> これまでに学習したこと(行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴/行書と仮名の調和/文字の大きさと配列)を理解している。 <b>【技】</b> これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。 <b>【評価資料】</b> 作品など